

思いやりと感性にあふれた医療で
地域社会の信頼に応えよう



日野記念病院

各病医院と連携をとるとともに、21の診療科を標榜することにより、地域密着完結型医療を目指しております。

〒529-1642 滋賀県蒲生郡日野町上野田200-1
TEL (0748) 53-1201 FAX (0748) 53-1455
ホームページアドレス <http://www.hino-hp.jp/>



湖東記念病院

地域の病院、医院との連携を深め、住民の方々が安心して利用して頂ける病院づくりに努めています。

〒529-1642 滋賀県東近江市平松町2番地1
TEL (0749) 45-5000 FAX (0749) 45-5001
ホームページアドレス <http://www.koto-hp.jp/>



介護老人保健施設リスタあすなる

看護・介護・リハビリテーション、その他必要な医療ケアで、家庭に復帰していただく支援をする施設です。

〒529-1642 滋賀県蒲生郡日野町上野田246番地
TEL (0748) 52-6000 FAX (0748) 52-6003
ホームページアドレス http://www.subarukai.jp/cms_asunaro/



訪問看護ステーション ひの

住み慣れた地域で快適な療養生活が送れるよう、ご自宅に看護師がうかがい、看護ケアを提供いたします。

〒527-1601 滋賀県蒲生郡日野町大字松尾988-1
TEL (0748) 52-8161 FAX (0748) 52-8162
ホームページアドレス <http://www.subarukai.jp/sthino/>

日野記念病院への交通アクセス

車でお越しの場合

〈八日市ICより〉

●名神八日市ICより国道421号を約2km東進、御園交差点を右折し国道307号を約9km南進、日野記念病院前交差点を右折（20分）

〈蒲生スマートICより〉

●蒲生スマートICを出て左折し約8km南進、三十坪地先の突き当たりを左折し国道477号線を約3km東進、松尾北交差点を右折、国道307号線日野記念病院前交差点を右折（15分）

電車・バスでお越しの場合

- JR近江八幡駅から、近江バス「北畑行き」で日野高校前下車、徒歩5分（45分）
- JR貴生川駅から近江鉄道に乗り換え、日野駅下車、近江バス「北畑行き」で日野高校前下車、徒歩5分（30分）
- 近江鉄道日野駅からタクシーで5分



思いやりと感性にあふれた医療で
地域社会の信頼に応えよう



医療法人社団 昂会

日野記念病院

Hino memorial hospital



Contents

- 院長よりご挨拶
- 新築・増改築箇所紹介
- 放射線科
MRI装置・乳房撮影装置・CT装置
X線TV装置・一般撮影装置
骨塩定量装置
- 乳腺外科
- 滋賀脊椎センター棟
- 手術室
- 検査科



鎌掛谷ホンシャクナゲ群落（日野町鎌掛地区）

【開花時期】4月下旬～5月上旬
4月下旬から5月上旬にかけての開花時期には、シャクナゲを鑑賞する多くの観光客で賑わいます。自然に群生しているため、表年（花が多い年）と裏年（花が少ない年）があります。

院長よりご挨拶

日野記念の新・改築工事を終えて

日野記念病院 院長 花澤 一 芳

青葉が目眩しい季節となりました。一昨年秋よりの工事開始により、受診・検診されました皆様には大変ご迷惑をおかけ致しました。皆様の多大な御協力により、全ての診療科が工事前の通常通りの診療を行いながら、この4月末にて以下の主な工事を終えることが出来ました。

- 1) 病院玄関及び受付の改修
- 2) 脊椎センターの新築
- 3) 新しい放射線診断機器の導入による放射線科棟の改築移転
- 4) 手術室の新築移転
- 5) 眼科外来改修
- 6) 乳腺専門外来新設
- 7) 内視鏡センターの移転
- 8) 救急外来の移転新築等。



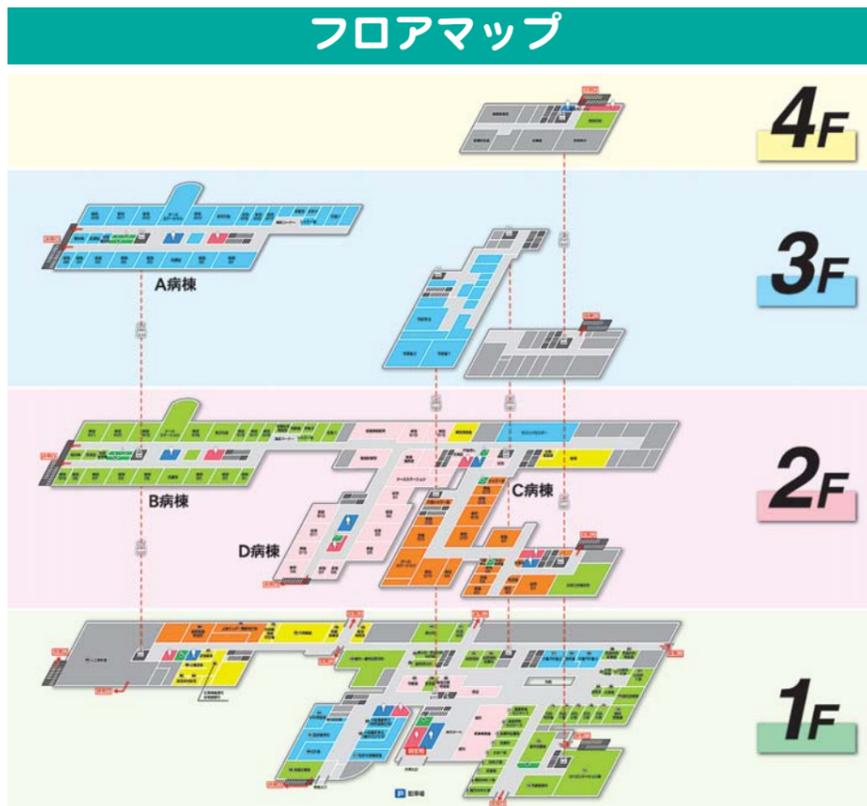
新しい放射線診断機器類の導入に関しては、具体的にはCT（64列）、超伝導MRIにより高速且つ精細、特殊な診断が可能となりました。X線TV（血管造影機能付与）やデジタル・マンモグラフィ装置の設置等により精度の高い画像診断の獲得が容易となりました。

乳腺専門外来開設により、乳腺手術症例も漸増し、更に眼科手術（滋賀医大眼科学教室専門医師による）が新たに可能となりました。更に消化器内科の内視鏡検査および内視鏡手術も充実して参りました。

地域医療としては現在、シームレス（継ぎ目のない）な医療体系・医療連携が求められております。日野記念病院は超高齢者に対する国の医療対策も念頭におき、地域の受診患者のニーズに貢献出来る病院として、また同時に他病院との機能分化も考慮した診療科別の機能特化も目指します。

地域住民の皆様や受診される方々の更なるご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。当病院は、滋賀医大、京都大学医学部より強力なバックアップを頂き、優秀な医師を派遣していただいております。歴史的にふりかえって観ますに、受診や入院治療をお受けになられる皆様により日野記念病院は、育て上げられ現在に至っております。数多くの方々に受診頂き、優秀なスタッフに活躍の場を更に与えて頂きます様お願い申し上げます。またこの事がより高度な、質の高い医療を皆様に提供出来るアルゴリズムになると思っております。皆様に信頼される病院として、地域住民の皆様のご意見を伺い、地域医療形態のビジョン（日野記念病院はどうあるべきか？）を共創させていただければ幸いです。

フロアマップ



放射線科

増改築期間中は、患者様には大変ご迷惑をおかけいたしました。この度工事が完了し、今まで別々の場所にあった放射線機器が放射線科ゾーンとして1ヶ所にまとまったことで、患者様の移動によるご不便の低減と、撮影等の検査をスムーズに行うことができるようになりました。

また、一般撮影室が2室になり、乳房撮影室は専用室になりました。これにより今まで1室で順番に行っていた検査が同時に分かれて行うことができ、患者様の待ち時間も大幅に短縮することができます。そして救急室と放射線科ゾーンが接していますので、救急対応にも適しています。

昨年末より、64列マルチスライスCTと、1.5T（テスラ）のMRIがすでに稼働しており、今春、一般撮影装置・乳房撮影装置・X線TV装置・骨塩定量（骨密度測定）装置が一新され、撮影室も転倒等に考慮した構造となり、診療の精度の向上やスピード化、患者様の安全性の向上など、様々なメリットが提供できるようになりました。



MRI装置

（2013年11月～稼働）

～0.4Tから1.5Tへ～

静磁場強度が1.5T（テスラ）の高磁場装置を導入しました。（前装置は0.4T）低磁場装置では画質上診断が困難であった乳腺や腹部、血管系をはじめ、あらゆる部位において画質の向上が実現し、その他種々の特殊撮像も可能となっています。また、高磁場化によって撮像時間も短縮され、検査中に患者様に対し長時間静止を強いという負担を大幅に軽減することが可能となりました。

この装置の特徴として、検査部位によっては、体動による画像のブレを補正する機能を使用できるので、静止が比較的に難しい小児や、高齢の患者様に対しても診断に有効な画像を得ることができます。



1.5T高磁場装置



操作室



MRI前室（更衣室）

乳房撮影（マンモグラフィ）装置

(2014年2月～稼働)

～アナログからデジタルへ～

乳房撮影においては従来のフィルムを使用するシステムを採用していましたが、今回F P D (フラットパネルディテクタ) を搭載した撮影装置を導入しました。

F P Dによる画質の向上とデータ量の適正化により、X線画像診断装置のなかで最も難しいと言われていたマンモグラフィのデジタル化を実現しました。それにより、撮影後すぐに画像確認ができるので、患者様を脱衣した状態でお待ちする時間を短縮することができ、フィルムの運用（現像処理や保管・管理、他院への貸出しなど）による診療のストレスも無くすることができました。勿論、画像の質も従来と比べると格段に向上しており、微細な石灰化の検出等、診断に大きく貢献しています。

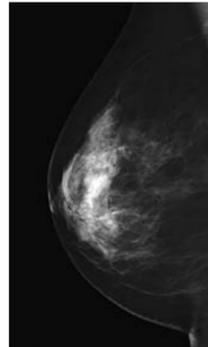
また、乳房というデリケートな部位の撮影ということもあり、室内の壁紙の色や床の材質に配慮し音響機器を設置するなど、患者様にできるだけリラックスしていただける環境を造りました。



乳房撮影専用室



撮影装置



X線画像



操作室



音響機器



室内の壁紙

C T 装置

(2013年10月～稼働)

～4列から64列へ～

画像を構成するための検出器を64列搭載したC T装置を導入しました。(前装置は4列)

検出器の列数が多いほど同じ範囲をより短時間、より細かく鮮明な画質で撮影する事ができます。多いほど同じ範囲をより短時間、より細かく鮮明な画質で撮影する事ができます。このことにより、短時間の息止めで広範囲の撮影が可能となりました。更に、これにより体のあらゆる断面が同じ解像度で表示できるようになり、疾患の診断に大きく役立っています。

新装置の特徴として、広い開口径、被ばく線量低減の他に、寝台のスライドが横方向にも可能で、四肢の撮影などにおいて対象を撮影中心に置き、空間分解能の向上が期待できます。また、ガントリ正面上部に液晶モニターが搭載され、検査内容について説明したガイダンス表示や、息止め練習機能などのメニューが10カ国語に対応しており、外国籍の患者様にも安心して検査を受けていただけるようになっています。



撮影装置



操作室



液晶モニター (小児用モード)

X線TV装置

～F P Dシステムの搭載装置～

以前より稼働している装置とは別に、F P D (フラットパネルディテクタ) システムを搭載した新装置を導入し、X線TV装置が2台となりました。従来のI. I. (イメージインテンシファイア) -DRシステムのデメリットであった歪みや感度ムラがなく、矩形視野により四隅まで透視下で確認できますので、関心部位の確認・ポジショニングを容易に行うことができます。内視鏡検査や超音波診断装置などの周辺機器を併用する検査が多いため、透視台周辺には広い空間が必要となりますが、この装置は独自のテーブル機構や斜めアーム構造により、広い検査空間を確保することが可能です。

また、X線TV装置を2台保有することで、脊椎センター・外科・内科・整形外科・泌尿器科などから同時に依頼があった場合に、柔軟に対応できるようになりました。更に従来の装置と同様に簡易な血管造影も可能で、様々なIVRIにも迅速に対応できると思います。



操作室



撮影装置

一般撮影装置

(2014年2月～稼働)

～CRからDRへ～

当院では、X線情報をIP (イメージングプレート) に記録し、専用装置で読み取り画像化するというCR (コンピュータドラジオグラフィ) システムを採用していましたが、今回F P D (フラットパネルディテクタ) を搭載したデジタルX線撮影装置を2台導入しました。F P Dは最新のX線検出器で、高感度・高精細な画像が撮影と同時に得られるというDR (デジタルラジオグラフィ) システムです。当院のF P Dはワイヤレスにも対応していますので、手術室など、緊急を要するポータブル撮影においても最適であると言えます。また、少ないX線量で画像化することが可能ですので、患者様の被ばく線量低減にも一役を担っています。



撮影室



操作室

骨塩定量（骨密度測定）装置

(2014年2月～稼働)

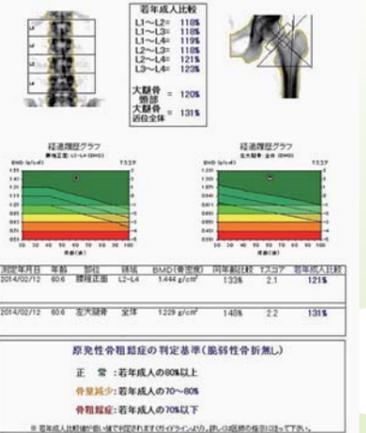
～MD法からD X A法へ～

骨密度測定において、今まではフィルムを使用するMD (Microdensitometry) 法を採用していましたが、特別な撮影装置を必要とせず、簡便であるのが利点ですが、早期に骨密度減少をとらえることは困難です。また、薬剤の治療効果を判定することもできません。

今回、その欠点を解消するD X A (Dual-energy X-ray absorptiometry) 法で測定する装置を導入しました。当院では通常、腰椎・大腿骨頸部 (股関節) の2ヶ所を測定しています。D X A法は誤差が少なく、測定時間が短く、放射線の被ばく量も少ないという利点があります。そのため、骨量測定の標準方法として重視され、骨粗鬆症の精密検査や骨粗鬆症の治療効果の経過観察、また骨折の危険性予測に有効なものです。当院の装置はコンパクト (約1畳のスペース) ですので、一般撮影室1と同室に設置しています。



測定装置



骨密度測定結果表

乳 腺 外 科

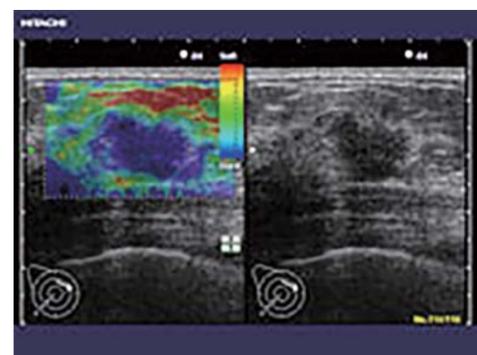
日野記念病院乳腺外科は2012年春に乳腺専門医が常勤として赴任し、独立した科としてスタートしました。スタート時には、乳腺診療には不可欠なマンモグラフィ装置の老朽化や乳房撮影のできるMRI装置がないことなど、いくつかの問題を抱えておりましたが、このたび増改築工事が完了し、皆様により精度の高い乳腺診療を提供できるようになりました。

まず、これまでは診察室が婦人科診察室（午前診察）と共用でしたが、新しく乳腺外科診察室を設けました。患者様の不安や緊張が少しでも和らぐようにと、パステルカラーを基調とした明るい雰囲気の診察室となるよう心がけました。

診断装置においては、マンモグラフィ、超音波検査装置、MRI装置が全て新しくなりました。

放射線科からも紹介しておりますが、乳房撮影装置（マンモグラフィ）をデジタル化しモニター診断を導入いたしました。撮影はマンモグラフィ専用室で女性放射線技師が行いますので、検査待ち時間も短く、安心して検査を受けていただけます。

乳房超音波検査装置は、エラストグラフィという新しい診断方法が可能な機種を導入しました。エラストグラフィは、超音波検査でしこりの硬さを画像化する技術です。力を加えたときに柔らかいものであれば大きな変形を生じますが、硬いものであればほとんど変形しません。その変形の程度を色で表したものがエラストグラフィです。乳癌は通常、正常組織や良性腫瘍と比べ硬いので、超音波検査に硬さの情報を加えることで診断の助けとなります。



エラストグラフィ画像



MRI画像

実際には、柔らかいしこりであれば良性腫瘍の可能性が高くなりますので、不必要な生検を避けることができます（乳癌の確定診断には生検が必要です）。

高磁場でのMRIは、乳癌疑いの精密検査に始まり、手術での切除範囲の決定や術前薬物療法の効果判定など現代の乳腺診療に欠かせない検査です。以前は湖東記念病院まで足を運んでいただく必要がありましたが、昨年秋より院内での撮影が可能となり、検査件数も増えています。

当院では、乳がん検診の二次精密精査、しこりや乳頭分泌など自覚症状のある方の精密検査（穿刺吸引細胞診、針生検、マンモトーム生検など）、乳癌と診断された方の治療（乳房温存術、センチネルリンパ節生検、乳房切除術、術前術後の薬物療法など）、残念ながら再発された方の治療（他院で手術された方も治療可能です）などを最新のエビデンスを取り入れながら行っています。

これからも、患者様や近隣の先生方のニーズに応えられるよう診療レベルの向上に努めて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



超音波検査装置

乳腺外科からのお願い

初めて乳腺外科を受診される方、6ヶ月毎や1年毎の経過観察中の方につきましては、待ち時間短縮のため予約をお勧めしています。紹介状の有無に関わらず予約できますので地域連携室までお問い合わせください。

（地域連携室直通電話 0748-53-1224）

通常、初診でマンモグラフィと超音波検査を行った場合には、待ち時間を含め所要時間は1～2時間程度です（予約ありの場合）。時間に余裕をもってお越し下さい。予約なしでも診察可能ですが、待ち時間が長くなる可能性がありますのでご了承ください。お急ぎの場合にはスタッフにお伝えください。

滋賀脊椎センター棟



平成23年4月1日にくび・腰など脊椎脊髄疾患の専門治療をおこなう診療科として、日野記念病院「脊椎センター」をオープンしました。さらに、平成25年7月より新病棟・新しい手術室・最新の医療機器・外来リニューアルをとめない、医師その他の人員をより充実させた「滋賀脊椎センター」と名称を改めて新たな一歩を踏み出すことになりました。

今後も滋賀県の脊椎脊髄疾患の拠点施設として、近隣施設ならびに遠近の各科専門医と協力関係を深めながら、質の高い専門医療センターを構築していくようスタッフ一同努力を継続していく所存です。

センターの活動としては質の高い診療をおこなうことが第一ですが、一方で単なる手術施設だけを指すものではなく、次のような機能および活動を実施しています。

- ① 施設認定：脊椎内視鏡下手術や経皮的後弯矯正手術（カイフォプラスティ）の認定施設です。
- ② 整形外科と脳神経外科：両方の専門医が共同して診療をおこなっています。
- ③ 学会活動：専門領域の研究会「オープンスパインミーティング」を立ち上げ、年3回の定期研究会や講演会を実施しています。
- ④ 専門医教育：若手外科医を対象とした手術セミナーを企画・開催しています。
- ⑤ 医療連携：通常の間路による医療連携のほか、メールによる他院からの症例相談にお応えしています。

手 術 室

平成25年7月に全科共通の新しい手術室3室を新設いたしました。移転とともに、治療機器としてこれまでのハイビジョン脊椎内視鏡・手術顕微鏡・術中自己血回収装置のみならず、術中CT撮影装置・手術ナビゲーションシステム・脊髄電気モニタリングシステム・新しい顕微鏡等が備えられました。これらの最新医療機器の導入により、いっそう正確で安全な手術治療が可能となりました。



新手術室



新手術室待合



脊椎ナビゲーションシステムS7

検 査 科

検査科では改築工事により、尿検査室・心電図室・超音波検査室（心エコー・腹部エコー）を同じエリアに設けることで、よりスムーズな検査が可能となりました。また、平成25年12月、生化学自動分析装置 AU680・血球計数装置ユニセル DxH800を導入いたしました。新しい自動分析機導入により、少ない検体量での検査が可能になりました。毎時1200テスト処理できますので、緊急時・診察前検査においてはより迅速に結果返却できるようになりました。



検査科



超音波検査室



生化学自動分析装置



血球計数装置